

日程第1 一般質問

議長（高木将君） 日程第1，一般質問を行います。

1 2月15日に続き，通告順に発言を許します。

1 番木村郁郎君の発言を許します。

〔1番 木村郁郎君登壇〕

1番（木村郁郎君） おはようございます。1番木村郁郎でございます。議長よりお許しをいただきましたので，通告順に従い一般質問をさせていただきます。

初めに，今年度の施政方針にも織り込まれておりますAED（自動体外式除細動器）の設置進捗状況及び使用法講習会の実施状況についてお伺いいたします。

消防庁の全国調査によりますと，心筋梗塞などの心臓疾患により心肺停止になった患者が救急搬送される際，心臓に電気ショックを与え鼓動を取り戻す除細動をした場合，1カ月後の生存率は17.5%，それに対し除細動をしなかった場合は3.5%と，5倍に上るとい調査結果が出ております。このように，市民の使用も認められたAEDによる応急処置の有効性が裏づけられております。

県内でも，ことし8月に全県立高校に設置され，また水戸市においても，市の施設3カ所に設置，さらに公民館などに設置を進めている状況であります。

そこで，お伺いいたします。現在，常陸太田市の公共施設にはAEDが何カ所設置されているのか，あわせて，今後の設置計画をお知らせいただければと存じます。

また，8月26日に実施された総合防災訓練では，AEDの取り扱い訓練がされましたが，救急時に対応するためには使用法訓練の必要もありと考えるため，講習会開催についてもご見解をお伺いしたいと思います。

次に，市有地売り払いの契約結果について，市役所自身の自己評価と今後の取り組みについてお伺いいたします。

市では，11月20日から27日までの募集期間において，天神林町，佐竹南台ニュータウンの宅地6件，塙町の宅地2件，金井町の宅地1件，下利員町の田3件，あわせて12件，総価格6,842万2,000円の市有地売り払いを公募し，12月3日に抽選会を行っております。契約状況については，先日の先輩議員の一般質問の中で，佐竹南台ニュータウン397.06平方メートル，603万5,000円の宅地1件であったとのご答弁をいただきましたので，結果については承知いたしました。

そこで，一歩進んでお伺いいたします。今回の契約金額は12件の総価格の8.8%となりますが，この契約結果をどのように評価されますか。そして，この結果を踏まえ，今後どのようにして未利用市有地の解消を図っていくのか，あわせて，9万4,283平方メートルある貸付地の借り主への売却についてのご見解をお聞かせ願いたいと思います。

私は，未利用市有地の売り払いにより今後の市の財産管理が明確になり，売り払い収入を得ることは公有財産の有効活用になると考え，本件質問をさせていただきました。

以上で，私の1回目の質問を終わりにします。

議長（高木将君） 答弁を求めます。消防長。

〔消防長 篠原麻男君登壇〕

消防長（篠原麻男君） 救急救命体制についての2点のご質問がございました。順次お答えいたします。

初めに、AED（自動体外式除細動器）の常陸太田市公共施設における設置状況でございますが、今年度は、市役所本庁、生涯学習センター、総合福祉会館、山吹運動公園、白羽スポーツ広場、大里ふれあい広場の計6カ所にそれぞれ設置したところでございます。

なお、今後の設置につきましては、全体の中で計画的に対応してまいりたいと考えております。

次に、講習会の開催についてのご質問にお答えいたします。AEDの取り扱いにつきましては、平成16年7月に厚生労働省より、非医療従事者によるAEDの使用について、救急隊員の行う応急処置等の一部改正が行われまして、救急隊員、あるいは一般市民でも使用することが可能となったところでございます。そこで、当本部としましては、各事業所及び一般住民に対し、今年度は一般救急講習会を31回、普通救命講習会を29回開催し、延べ人員2,356名が受講されたところでございます。その中に、AEDの取り扱い訓練も組み入れて実施してまいりました。

今後とも引き続き、AEDの取り扱いにつきましては普及啓発に努めてまいります。

以上でございます。

議長（高木将君） 総務部長。

〔総務部長 柴田稔君登壇〕

総務部長（柴田稔君） 私の方から、市有地売り払いについてのご質問にご答弁を申し上げます。

過日、市有地関係の一般質問をいただきまして、ご答弁を申し上げておりますが、特に平山議員の方からご質問がございました。その中で、議員発言のとおり、貸し付けしている面積9万4,283平方メートルが現在ございます。これらにつきまして市の方で、実際に議員ご発言のとおり公募をしました。その結果は先ほど述べられたとおりでございます。

それで、これをどう評価されるかというようなご質問をいただきました。当然、合併をしまして、さらに市の開発公社が解散をしました。そういう土地を全部、今、市が引き受けている。そういう中で、行政財産、公有財産すべて今、市の契約管財課の方で台帳整理をしながら整理を図っているわけですが、当然、考え方としては、市が何らかの形で利用できる土地は、新たにその土地を求めるものばかりではなく、現在あるそういう土地を活用するというのももちろんでございますが、それ以外の部分については、過日ご答弁申し上げましたように、市の中で土地利用協議会というのができてございます。その中でいろいろ検討をしまして、公募をしているというような状況でございます。

そういう中で、特に貸付地ですが、公募をしたのは貸付地ではなくて、普通財産を公募したわけですが、これは、パーセント的には大変契約状況が低かったんですが、県

あたりを聞いてみますと、今、同じような状況にあると。お隣の日立市でも、やはり公募をして、市の土地を今、売り払いを行っているけれども、思うように状況が伸びないというような状況。そういう部分を考えますと、当市でもそういう状況、同じような状況かなと。これは、公募をした期間で終わりじゃなくて、今後引き続き随時公募をして、市の歳入の確保というような部分で続けていくというふうに考えてございます。

そういう中で、どう評価されるかという、やはり引き続き続けるということで、市の使用していない財産については、土地利用協議会の結果で公募をして、売り払っていくということには変わらないので、今後も内容的にはそういうことで行っていくというような考えでございます。

それで、貸付地でございますが、実際は、件数で言いますと82件、主なものでいきますと、みずほ農業協同組合さんに一部貸し付けている部分もでございます。あるいは、茨城県の警察本部のこういう警察署関係、あるいは土地改良事業団連合会という部分での、建物が既にある貸付地というようなものも含まれていますし、グリーンふるさと振興機構、こういう事務所にも貸し付けをしているというようなことで、なかなか貸付地の売り払いという部分にはいきませんが、そういう中で、そういう団体からそういうご要望があれば、やはりこういうのも土地利用協議会の中にお諮りをしていくというようなことで、現在、考えております。

そういう中で、今後ともこの売却については、先ほど述べましたように、合併をして大きく土地がふえたんですけれども、その中で、市有地になった経緯というのも、やはり過日ご答弁申し上げましたように調査をして、何でかんで公売にしまして、これはちょっとまずかったというようなことがないように、そういう中で公募を続けてまいりたいという方向で、今、考えているところでございます。

以上です。

議長（高木将君） 1番木村郁郎君。

〔1番 木村郁郎君登壇〕

1番（木村郁郎君） ご答弁ありがとうございました。

行財政改革の1つ、未利用市有地の解消については、財産台帳の作成と売却の実施を引き続きお願いしたいと存じます。

AEDの設置状況については、現在6カ所ということであります。人口6万人の常陸太田市としてはまだまだ普及の余地ありと思っておりますので、引き続き設置の方の推進もお願いしたいと思います。

佐賀県では、一括購入により通常より4割安く購入し、配備したとの新聞報道もありますので、全国的に見ても、万が一のときの安心安全のため、普及傾向にございます。また、第5次総合計画救急医療体制の整備、現在の救命率2.9%を8.8%にするためにも、救急隊員の到着時間の短縮とあわせて推進していただくことを希望いたしまして、私の一般質問を終わりにしたいと思います。ありがとうございました。